



平成30年6月7日発行 NO.2219 第2372例会 会長 前川 成吉 幹事 倉石 昌治 会報委員長 桜井 隆宏

例会報告(平成30年5月10日)

「会員結婚記念祝」

小林定雄会員 菅原裕輔会員 土屋俊夫会員

点鐘

ソング

「君が代」
「奉仕の理想」

「奥様お誕生祝」

越川博光 夫人 さち子様
向後雅生 夫人 計子様

唱和

「四つのテスト」

会長挨拶

会長 前川成吉

幹事報告

幹事 倉石昌治

プログラム

本日のお客様 成田国際空港株式会社

用地部長 平山儀幸様

用地部次長 轟 孝雄様

用地保全グループマネージャー 奥田尚志様

第一例会につき 結婚・誕生祝い

奨学金授与(王堯玉さん)

各委員会報告

卓話(轟孝雄様)

奨学金授与



5月誕生・結婚記念祝い

「誕生祝」

倉石昌治会員 齋藤逸朗会員

乾杯のご発声

第49代会長

行木英夫会員



倉石会員 / 小林会員 / 前川会長 / 越川(博)会員 / 向後会員



会長挨拶



皆さんこんにちは。本日は5月の第一例会なので理事会がございました。理事会報告は別紙の通りでございます。

さて、本日は成田国際空港(株)より用地部部長 平山儀幸様、用地部次長 轟孝雄様、用地保全グループマネージャー 奥田尚志様、3名のお客様をお迎えしての例会となります。ようこそおいで下さいました。我が郷土成田空港の未来を語って頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

理事会報告

第11回定例理事会

日時：平成30年5月10日(木) 10:30～

場所：成田空港南RC事務所

議題

第1号議案. 4月度会計報告
承認されました

第2号議案. 次々次年度会長選出の件
指名委員会に要請

第3号議案.

①分区ゴルフ補助金の件
クラブから10000円

②LCとの親睦ゴルフコンペ補助金、会費の件
クラブから30000円

第4号議案. 東町区費の件
例年通り10000円

第5号議案. 会長幹事慰労会の件
6/27(水) ゴルフコンペ
慰労会 点鐘18:00 サンモール

第6号議案. テント寄贈の件
次年度に引き継ぎ 注文は今年度行う

幹事報告

①例会変更のお知らせ

- ・茂原RC ・大網RC
- ・銚子RC ・小見川RC
- ・茂原中央RC

②会報受領クラブ

- ・茂原中央RC ・茂原東RC ・銚子RC
- ・大網RC ・多古RC ・茂原RC ・東金RC

③ガバナー事務所より

- ・希望の風セミナー再度のご案内
- ・地区指名委員会より「18-19R I 理事選任郵便投票の結果報告」
- ・地区ロータリー財団より「寄付ゼロ報告と御礼」
- ・財団NEWS2018年5月号
- ・青少年月間リソースのご案内

卓話



成田国際空港(株)用地部部長 平山儀幸様

成田空港の現状と取り組みについて



成田国際空港(株)用地部次長 轟孝雄様

成田空港の航空取扱量推移

→1978年の開港以来、航空取扱量はおおむね順調に成長。2012年の本邦LCC就航をきっかけに、国内線利用者数が伸長。2017年暦年は、旅客数・発着回数が開港以来最高を記録

豊富なネットワーク

- 成田空港は日本と世界を結ぶ表玄関。東京という世界有数の経済都市を後背地に持ち、世界111都市と結ばれている豊富なネットワークが強み
- 特に、アジアと北米の結節点として重要な役割を果たしている

成田空港発 就航都市一覧（経由地含む）
合計 129 都市（海外 111 都市、国内 18 都市）

海外就航都市数 38 カ国 3 地域 111 都市

南北アメリカ方面：3 カ国 26 都市

ヨーロッパ方面：13 カ国 19 都市

アジア・中近東・オセアニア方面：20 カ国 3 地域 63 都市

アフリカ：2 カ国 2 都市

成田空港に乗り入れるLCC

- 航空取扱量の増加は主にLCCが牽引しており、2017年度は発着回数（旅客便）におけるLCCシェアが30%を超える見込み

成田空港の道路アクセス向上 -圏央道の整備-

- 現在、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）が整備中。成田空港～北関東間の所要時間短縮が図られるだけでなく、都心渋滞回避や主要高速道との接続など道路アクセス機能が大幅に向上
- 2017年2月26日には「境古河IC～つくば中央IC」間が開通。これにより、成田空港と北関東・上信越方面とのアクセスが向上し、観光地としては、富岡製糸場、伊香保、草津、秩父・長瀨、軽井沢などへのアクセス便利性が向上

アジア主要空港における施設整備計画

- アジアの主要空港は、極めて大きな処理能力を将来計画として掲げており、それに向けて2017年から2019年にかけて大規模な施設整備を予定していることから、今後国際空港間における路線獲得競争は、更に激化することが見込まれる

- アジアの成長は同時に成田空港にとってのチャンス。増加するアジアからの訪日外国人旅客の受け入れ体制を整え、また、乗継利便性の向上を図ることにより乗継需要を取り込むことで、更なる成長につなげたい

成田空港における航空需要予測

- 国土交通省の示した需要予測によると、首都圏空港（成田・羽田）の航空需要は、概ね2020年代には計画処理能力のほぼ限界に達する見込みとされている
- さらに、成田空港単独で見ても発着回数は2020年代には年間30万回を超え、2030年代初頭から2040年代後半には年間50万回に達すると予測
- 発着回数が年間50万回に到達する際には、年間旅客数7,500万人、年間貨物取扱量300万トンになる見込み

更なる機能強化の必要性について

「観光ビジョン」（平成28年3月）における目標値

- 本格的な少子高齢化社会を迎える我が国において、経済発展著しいアジア諸国の成長を取り込んで行く事は、国際競争力の強化と持続的な成長のため必要不可欠
- 政府においては、訪日外国人旅行者数を2020年に4,000万人、2030年に6,000万人にする目標を掲げるなど、観光を我が国の基幹産業とすべく位置付けた成長戦略「観光ビジョン」を打ち出し、受入環境の整備を積極的に推進
- 我が国の表玄関である成田空港においても、こうした政府目標の実現に貢献して行くことが必要

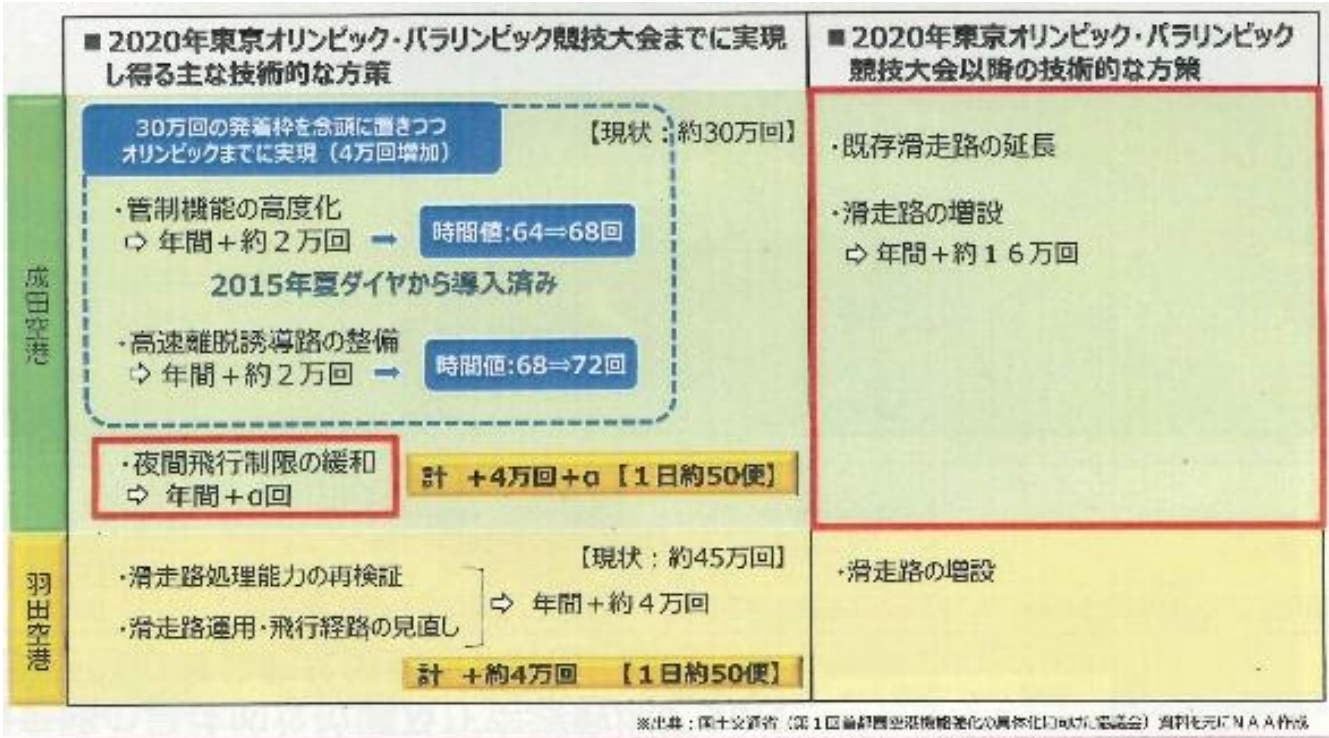
更なる機能強化の必要性について

成田空港の成長

- 成田空港は、年間発着枠30万回化、離着陸制限（カーフェュー）の弾力的運用の導入等が実現したことにより、航空取扱量が右肩上がり成長
- また、政府による成田空港へのオープンスカイの適用及び観光立国推進の政策により、就航都市数の拡大や新たな航空会社の参入が進んだ結果、訪日外国人旅客数が大幅に増加してきている状況
- 2012年からは、本邦LCCの拠点が進み、国内線も就航都市、旅客数が増加してきている状況

今後の首都圏空港機能強化に向けた検討

首都圏空港機能強化技術検討小委員会の中間とりまとめ（概要）（2014年7月8日）



滑走路の具体的な位置及び空港敷地について

滑走路の具体的な位置について

■滑走路については、成田空港の国際競争力確保の観点から発着容量を50万回まで拡大でき、航空機の地上走行が短く効率的な運用が可能となる案とした

- ✓C滑走路は、B滑走路の南側に、3,500mの滑走路を配置で整備する
- ✓B滑走路は、既存のB滑走路を北側に1,000m延伸し、3,500mの滑走路を整備する
- ✓なお、計画していた横風用滑走路は整備を取り止める

滑走路の具体的な位置及び空港敷地について

空港敷地範囲について

- 約1,000haの空港敷地の展開候補地については、計画中の圏央道の整備区域、既存の都市計画区域の設定状況等を踏まえて素案を作成した上で、移転対象となる地域に対して、丁寧な説明を行い検討を進めてきた
- この結果、空港敷地の展開候補地は、航空法の変更許可申請に向けて今後更に具体化していく予定

夜間飛行制限の緩和について

■現行における23時～6時までの夜間飛行制限については、成田空港の国際競争力の確保と地域住民の生活環境の保全の両立を図る観点で関係者間で検討した結果、深夜早朝対策を実施していくことを前提に以下のとおり見直しを行う

【C滑走路供用までの当面の間】

- A滑走路において、先行して追加の防音工事等環境対策を講じつつ、運用時間を1時間延長して6時から0時までとする
- 22時台の便数制限を廃止するとともに、0時から0時30分までの30分間は弾力的運用※を行う
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催までに実施する

【C滑走路供用後】

- 滑走路別に異なる運用時間を採用する「スライド運用」を導入し、飛行経路下における7時間の静穏時間を確保した上で、空港全体としての運用時間は5時から0時30分までとする
- 全ての滑走路の22時台の便数制限を廃止するとともに、0時30分から1時までの30分間は弾力的運用を行う

※やむを得ない事由により通常の運航に影響を及ぼすこととなった航空機に限って離着陸が認められる制度

発着回数 50 万回に基づく騒音コンター及び対策区域について

騒防法に基づく第 1 種区域

○第 1 種区域指定の基本的考え方

- (1) 第 1 種区域の指定にあたっては、平成 29 年 6 月 12 日に成田国際空港株式会社が公表した年間発着回数 50 万回時の予測騒音コンターを基本とする
- (2) B 滑走路においては、騒音コンターが現在の第 1 種区域より広がる場合は、当該地域について集落分断に配慮しながら第 1 種区域を拡大する
- (3) C 滑走路において、騒音コンターに基づき、集落分断に配慮しながら新たに第 1 種区域を指定する
- (4) A 滑走路と B、C 滑走路に挟まれた谷間地区については、将来のスライド運用等も考慮しつつ、地域の生活環境保全の観点から、全て第 1 種区域とする
- (5) A、B 滑走路において、騒音コンターの拡大が見込まれない地域については、地域の生活環境保全の観点から、現在の第 1 種区域を維持する
- (6) 横風用滑走路については、今後整備を予定していないことから、横風用滑走路に係る第 1 種区域は廃止する

更なる機能強化による効果について

■成田空港の更なる機能強化により発着容量を拡大させ、経済発展著しいアジア諸国の成長を取り込んでいくことで、今後、成田空港では、旅客数や貨物量の大幅な増加が見込まれるとともに、空港周辺地域に、産業振興やインフラ整備、生活環境の向上など、様々な効果をもたらすことが期待される

発着回数 50 万回時に期待される効果

	現在		今後
旅客数	4,000 万人	⇒	7,500 万人
貨物取扱量	200 万ト	⇒	300 万ト
空港内従業員数	4 万人	⇒	7 万人

周辺地域で期待される効果

- ◇地元企業の成長 ◇企業進出
- ◇地元農水産品の輸出拡大
- ◇雇用の創出 ◇観光客の増加
- ◇空港へのアクセス交通の充実
- ◇道路ネットワークの拡充

ニコニコボックス

青柳誠君・向後雅生君・富一美君・鈴木恭一君
内田裕雄君・前川成吉君・行木英夫君・市原豊彦君
伊藤元雄君・杉森幹男君・高田一行君・安藤卓造君
上原広嗣君

…成田国際空港(株)の皆様ようこそ

越川博光君・向後雅生君

…奥様誕生祝いありがとうございます

小林定雄君

…結婚記念祝いありがとうございます

倉石昌治君

…誕生祝いありがとうございます

本日計	25,000 円
累計	657,010 円

出席報告

例会日	会員数	出席	出席率に用いる数	%
5 月 10 日	33	20	32	75.00

☆ 欠席をしたらマークアップをしましょう ☆